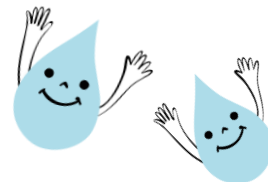


日本の水政策のキーパーソン

沖 大幹 氏講演会



水危機 ほんとうの話

今後は気候変動が激しくなり、渇水も大洪水も増えてしまう。だからダムやスーパー堤防が必要… ほんとうでしょうか？

海外では砂漠化が進行し、水不足が深刻化するとされていますが、日本でもそうなのでしょうか？

沖大幹教授は水文学の第一人者であり、国交省の数々の審議会の座長や委員を務めてこられました。まずは日本の水の実態や、水政策の方向性についてじっくりお話を伺います。続けて、市民運動の理論的支柱である嶋津暉之さんから質問をお出しし、さらに問題点を掘り下げます。

まもなく縮小社会に入り、財政再建が急務とされる日本ですが、一方で、アベノミクスによる公共事業への投資がふくれあがっています。河川行政も例外ではありません。

重要な岐路における重要な議論、ぜひお見逃しなく！

◆日時:2014年7月26日(土) 13:30~16:00

◆会場:全水道会館 4F 大会議室 (水道橋駅 徒歩3分)
地図は裏面

◆参加費 500円



2014年

7月26日(土)

13:30~16:00

全水道会館
4F 大会議室

✿ 沖大幹氏(東京大学教授) 講演

✿ 対談 沖大幹氏 × 嶋津暉之氏

(水源開発問題全国連絡会共同代表)

✿ 会場との意見交換

共 催 : ハツ場ダムをストップさせる市民連絡会、ハツ場あしたの会、水源開発問題全国連絡会、利根川流域市民委員会

後 援 : 水情報センター

連絡先 : ハツ場ダムをストップさせる東京の会 T/F 042-341-7524(深澤)

おきたいかん

沖大幹 氏

1964年生まれ。2006年より東京大学生産技術研究所教授。

著書に『水危機 ほんとうの話』（2012年、新潮選書）、『東大教授』（2014年、新潮新書）など。

第16回生態学琵琶湖賞など受賞多数。国土審議会水資源開発分科会調査企画部会座長、中央環境審議会専門委員ほかを歴任。

しまづてるゆき

嶋津暉之 氏

1943年生まれ。2004年まで東京都環境科学研究所勤務。著書に『水問題原論』（1999年、北斗出版）、『ハッ場ダム——過去、現在、そして未来』（共著、2011年、岩波書店）など。水源連共同代表の他、「ハッ場ダムをストップさせる市民連絡会」代表なども務める。ハッ場ダムをはじめ、全国のダム建設問題について技術的解析を行っている。



全水道会館 Tel 03-3816-4196
Fax 03-3818-1430

<交通案内>

JR水道橋駅 東口(お茶の水寄り)
徒歩2分

都営地下鉄三田線水道橋駅 A1出口
徒歩1分

1Fが、ニューヨークカフェになっているビルです。